

# 鋭い視点で 益城町の現状と未来を問う



## 問 惣領橋の歩道について



坂田 萌美 議員  
(広安小6年)

惣領橋の歩道は、飯野方面に行く左側にはなく、車が橋の上で止まっていると、小学生と中学生がすれ違ふことができせん。また、すれ違ふときに危ない状況です。朝の通学時間には、信号待ちの間に中学生が多くなつてしまひ、中学生も車も、どちらも危ない状況です。事故を防ぐために歩道をつくつてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

## 答 橋の災害復旧後に設置(県) 町では早期設置を要望中

県道益城菊陽線に架かる惣領橋は、現在、下流(西)側の片側だけに歩道が設置されています。

「歩道を両側に設置して、児童生徒の通学路の安全を確保して欲しい」と、熊本県に対してずっと要望をしてきたところ、ようやく平成27年度に新しく歩道橋を設置することが決まり、工事に掛かっています。

しかし、熊本地震により町内全域が大きな被害を受けたことで、取り掛かった歩道橋の工事はストップし、

惣領橋も被害を受けて中間が下がっている状態になっています。

惣領橋を管理する県では、まず、橋を元に戻す災害復旧工事に本年度内に着手し、完了後に歩道橋の設置工事を再開することです。新しく架けられる歩道橋の位置は、橋の下流側となるため、現在、橋にある歩道(西側)を車道として利用し、新しく東側に歩道を設置することにより、橋の両側を歩道として通行することができるようになるということです。

町としても、1日も早く歩行者の安全が確保できるよう県に要望しているところです。

完成までには、もうしばらく時間がかかりますが、通学などの際には十分注意してください。



図を使つての執行部の丁寧な説明

## 問 ごみのポイ捨てについて



岩村 莉里花 議員  
(津森小6年)

私が住んでいる津森校区の小さな丘の中腹は、自然が豊かで動物がたくさん住んでいます。季節により違った景色を見せてくれるこの地区が、私は大好きです。

しかし最近、道路に食べ物が入つた弁当殻やペットボトル、空き缶など、ごみが捨ててあることがよくあり、自然が汚されて動物たちも暮らしにくくなつてきていると思います。

そのほか、ごみの影響で車が通りにくくなつていたり、ごみをあさるカラスなどが農産物もあさつたりしています。少しでもよくなるようにと、家族でごみを拾っています、一向によくありません。

この現状を改善してほしいと思いますが、町では、どのような対策をされているのでしょうか。

## 答 立て看板や回覧などで啓発。「きれいに」する意識が大事

豊かな自然に恵まれた益城町の中でも、津森地区は、周りを山々に囲まれた水と緑が豊かな地域です。こ